

「古河市のまちづくり」に関する 市民アンケート調査を8月に実施します

平成17年に1市2町が合併し、新「古河市」が誕生してから12年が経過しました。この間、新しい古河市の方向性と基礎を築くために策定された「新市建設計画」や「古河市総合計画」に基づき、まちづくりに取り組んできたところです。一方で、人口減少や公共施設の老朽化、社会状況の変化等に伴い、本市の抱える課題も大きく移り変わっています。

今後のまちづくりのため、その課題を皆さんと共有し、現在のニーズを把握することを目的として、市民アンケートを実施します。ご協力をお願いします。

【問】プロジェクト推進室(総和庁舎) TEL92-3111

調査の概要

1. 対象者

市内在住の満18歳以上の男女3千人

2. 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

3. 発送時期

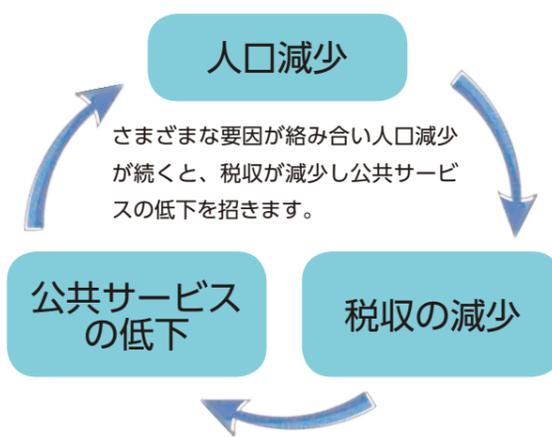
平成30年8月(予定)

4. 内容

- ①市の現状
- ②合併による効果
- ③市の取り組みの満足度や重要度
- ④先導的プロジェクトへの関心

市の現状と課題

人口減少の要因の一つとされているのが若年層の流出です。特に、高校・大学を卒業すると、市外に転出し、そのまま戻らない傾向が見られます。



※今後、想定される社会変化のイメージ

先導的プロジェクトを知っていますか？

合併時に策定した新市建設計画において、4つの先導的なプロジェクトを定めています。

- ①(仮)南古河駅の設置
古河駅～栗橋駅間のJR宇都宮線新駅の早期実現や新市街地の形成を図ります
- ②筑西幹線道路の整備
桜川筑西ICから古河・総和地区までの区間の整備促進を図ります
- ③高等教育機関の誘致
高次都市機能の一つとして高等教育機関を誘致し、人材の育成を図ります
- ④各交流拠点の整備
文化、みどり、行政等の交流拠点とそれらを結ぶネットワークを形成し、人と物の交流を図ります

ごみが処分されるまで

家庭ごみを集積場に置いてからどのように処理されているか知っていますか？ ごみ収集→焼却→埋め立てに、多くの人が手間と時間をかけることで、私たちの衛生環境が保たれています。

排出されるごみを減らすために、処分されるまでの工程を学んでみましょう。

